

# 2,000億円の超大型 望遠鏡で見る宇宙



日時 2018年4月18日(水) 16:30~17:45

場所 電気通信大学 UECアライアンスセンター 1階  
100周年記念ホール

内容 1990年代にハワイ島に8mすばる望遠鏡を建設。開発した補償光学はその視力を10倍にするハイテク技術。現在は5カ国で2000億円の超大型望遠鏡TMTを建設中。宇宙の謎の最先端：宇宙の一番星、太陽系以外の惑星、ダークエネルギーについても画像中心に分かり易く解説します。質問コーナーで皆さんの疑問を何でもぶつけてみてください。

対象 電気通信大学の学生、教職員。天文に関心がある中高生、調布市民。

講師 国立天文台名誉教授 **家 正則** (いえ・まさのり)

1949年生まれ。1977年東京大学大学院修了、理学博士。すばる望遠鏡プロジェクト科学者。ギネス記録となる129億光年彼方の銀河を2006年に発見。2014年からはTMT国際天文台日本代表としてプロジェクトを推進中。紫綬褒章、日本学士院賞、東レ科学技術賞他、受賞多数。趣味はテニス、ギター、囲碁。

申込 メール 件名 4/18セミナー参加  
本文 所属とお名前

[vb-seminar@sangaku.uec.ac.jp](mailto:vb-seminar@sangaku.uec.ac.jp)

